

市 政 の 現 状 第15号

令和6年11月

令和6年9月議会に於いて、市長から提案された議案の審議状況や一般質問など、市民の皆様の特にお伝えすべき事項について、市政に関する現状を報告いたします。

ホームページも確認してください <https://katsumi-suzuki.jp/>

かつみHP

来年4月・墨名駐車場と出水駐車場が有料に！！**提案された条例案に対して、十分な検討時間も少なく****市議会に於いても、審議や議論が尽くされたとは言い難い。**

9月議会に**突如として提案された条例案**は、これまで勝浦市の経済活性化のために、商店街利用者、朝市関係者、観光客、公園利用者などへの利便性向上のためとして、無料で利用できた墨名駐車場と出水駐車場を、**有料駐車場**とするために提案され、**賛成多数（賛成10・反対4）**で可決しました。

市は有料化の提案において、事前に十分な状況調査も行わず、関係する団体や市民に対しても説明しただけで理解を得たと判断している。

さらには、**照川市長就任後に計画された市の基本計画である総合計画**にもこのことについて何ら記載されておらず、全く何の前触れもない状況で突然提案されたものであり納得できるものではありません。

※このことについては、既に「広報かつうら」10月号に利用料などを具体的に記載せず掲載されており、議会終了後すぐに指定管理者公募が市ホームページに掲載されています。

市営駐車場の有料化についての説明内容

1 有料化の背景と目的

- 鍵の開閉や維持管理で**年間80万円の経費**を要しているがこれを抑制できる。
- 繁忙期やイベント開催時は、満車となり**周辺の道路渋滞も発生**している。
- 有料化し24時間開放することで**財源の確保と利用の適正化**を目指す。

2 管理・運営の方法

- 指定管理事業者による管理・運営
- 利用料金は、最初の30分まで無料・1時間まで200円・30分を超える毎に100円加算
- 24時間あたり600円上限（繁忙期1,000円）
- **駐車場利用料金は指定管理者の収入とする**

3 指定管理者業務内容

- 管理機器の設置、管理、機器の保守メンテナンス・料金徴収業務

注 市に対する歳入(収入)は、「指定管理者から月額で納付金を徴収する。金額は、利用料金の一定割合の額を提案してもらい市の歳入とする。」との記載しかなく具体的な数値などは示されていない。これでは、議案の審議すらできない。

疑問点が多い駐車場有料化に対する質問の一部！！



議会質問
鈴木は3番目

Q1	何のための条例制定か。
A1	観光振興の財源確保。駐車場の適正化。
Q2	現状の駐車場を設置した時の背景は。
A2	墨名駐車場は、朝市や観光客などへの駐車場不足解消 出水は交流人口の増加、イベント時の駐車場不足解消
Q3	朝市の会、商店会、観光協会、塩田病院等これまで関係した機関等との協議はどのようになっているか。市民の意見を聞いたか。
A3	市の考えを説明し理解を得た。市民意見は、利用状況の調査時に聞いた。
Q4	駐車場となる敷地の計画はどのようになっているか。
A4	今後の計画を固めている。墨名駐車場に元ゲートボール場は入っていない。
Q5	現状の公衆トイレについての対応をどのように考えているか。
A5	公衆トイレ（潮風散歩道トイレ）は、今後も市が管理する。
Q6	この提案を行うにあたり、何時からどのような検討がされてきたか。
A6	観光・交流人口も増加し財源の確保と受け入れ態勢のための検討をした。
Q7	現状での利用状況などの調査、分析、検討は。
A7	調査は、9月に入り観光商工課で数日間行った。 1日あたりの 墨名 平 330台 祝 500台 年間のべ 平均利用台数 出水 日 300台 祭日 300台 利用台数 30万台
利用台数は、数日程度の調査であり年間を通じた調査とはなっていない。本当にいい加減な対応としか思えない！行政としてこのようなことで良いのか！	
Q8	収支見込等の算定は出来ているのか。機械器具は指定管理者が設置するとあるが、料金収入で採算の見込みを何年くらいとしてといるのか。
Q8の質問には、全く具体的には答えていない。指定管理応募者には数値を示すとのこと。議会軽視もはなはだしい。	
Q9	大型バスや観光バスの取り扱いをどのように考えているか。
A9	バスは乗降のみの利用とし、料金は取らない。他の場所で待機してもらう。

この条例案については、産業厚生常任委員会(委員7名・委員長 岩瀬洋男)でさらに審議されましたが、委員会では特にこれと言った質疑での異論もなく全員賛成で可決。この審議結果が議会最終日の本会議で委員長から報告され、本会議での採決では、賛成者10名 反対者4名でした。



現在の墨名無料駐車場

反対議員	岩瀬 清 ・ 狩野光一 ・ 戸部 薫 ・ 鈴木克己
賛成議員	岩瀬(琢)・岩瀬(洋)・岩瀬(義)・長田・久我・末吉・寺尾・戸坂・松崎・渡辺

議案議決に対する討論

討論とは・・・反対や賛成の理由を明確に説明し、その意志を表明する。

駐車場有料化に対して、**反対者のうち、鈴木、戸部議員、岩瀬清議員が反対の討論**を行い、**長田議員、戸坂議員が賛成討論**を行った。

鈴木克己の反対討論要旨 [かつみHPのこれまでの活動に全文掲載](#)

1	観光客を迎えるため施設、市民生活の利便性向上、商業施設など地域活性化のための中心的な場所である。 単に有料駐車場としての利用だけで良いのか疑問。	
2	勝浦市総合計画にも駐車場に関し具体的な計画は無い。	
3	年間を通した利用状況や具体的な数値は把握していないことが判明した中で、 年間利用台数は30万台 との何ら根拠に乏しい説明。	報告・討論
4	墨名・出水駐車場は、利用形態が異なる。運用について本当に検討してきたか疑問。30 分の無料設定も、 出水の利用状態（学校の送迎場所） からの設定であることを確認。単に市営駐車場とひとくくりの考えに疑問。	
5	墨名駐車場にある公衆トイレは、今後も市の直営管理で行う とのこと。このトイレは、観光客を初めとした駐車場利用者へのサービス対応で設置されたもの。このトイレを、 駐車場と一体して管理することにより、市の説明の歳出の削減につながる のではないかと。トイレを含めた管理委託では、受託者がいないという説明は、理解が出来ない。	
6	子育て支援のために設置した「潮風公園」利用者の駐車場 として、多くの子育て中の市民に利用されているが、有料化の話を聞いた市民からは、 公園もお金を払わなければ利用できなくなるのと一緒だ との意見もある。市長の公約である「 子育て支援 」に逆行しているのではないかと。	
7	多くの観光客や移住者が 増加傾向にある途上で、単に利用者が増加しているので有料化しようとする単純な考えには到底理解できるものではない。	
8	観光バスの取り扱い、祭事や大型イベント開催時における利用方法や 利用料への対応もこれまでの説明では納得がいかない。 特に観光目的の大型バスなどは、優先して無料で駐車させるくらいの配慮が必要 である。	

私（鈴木克己）は、有料化についての考えに全面的に反対するものではありませんが、今一度、料金の設定、指定管理者ありきの管理運営、駐車場周辺問題について、再考することが必要であると主張し反対を表明しました。

料金徴収については、最初の 2 時間までは無料、その後の利用について有料化することであれば、これまでの利用者や、市の経済活性化に大きな意味があるものと思います。

指定管理になれば、最低でも今後向こう 5 年間は他の用途に転用することは出来ない。

勝浦市の経済活性化、観光活性化のためにも、特に墨名駐車場は、その利用価値が高い場所です。**観光基本計画でも検討され明記されている仮称フィッシャーマンズワープ計画（地場産品紹介・直売場施設）の具体的な検討をすることが今こそ必要ではないでしょうか。**

9月議会の一般質問

鈴木克己の質問 要旨

人口減少は、市の経済的活性化はもとより市勢の弱体に繋がり、特に、子育て世代の流出による少子化が顕著になっていることによって、小中学校の統廃合が進み、**令和8年4月にはさらに小学校3校（興津、総野、豊浜）が廃校**となることが示された。

廃校後の学校施設や用地等は、一部では民間による活用があるが、具体的計画性が無いことから、考えについて質問した。



一般質問

1・学校統廃合による廃校後の学校施設の利用状況と管理について

質問	旧北中学校の体育館、グラウンドの今後の整備と活用方針について伺います。
回答	旧北中学校の施設についてはスポーツ振興の拠点として活用することを基本とし、良好な状態で提供をできるよう必要な整備を実施する。
質問	令和8年4月の小学校統廃合方針が示されたが、廃校後の利活用方針について市長としての考えを伺います。
回答	今後の在り方について地域の思いも拝聴し、民間利活用、他自治体の成功事例、先進事例を踏まえつつ検討を図ってまいりたいと考えます。

市内に4か所あるの公営住宅は、1959年から1973年の間に建設されたもので、一部は改築されているものの、大半は既に50年以上が経過していることから、今後の市営住宅についての維持管理等の対応について聞いた。

2・公営住宅の現状と課題、今後の整備方針と公営住宅に対する方向性について

質問	川津万名浦団地、梨の木団地、浜勝浦みなと団地は、建設から既に50年以上が経過し老朽化が著しいが、今後の整備方針について伺います。	
回答	万名浦団地	用途廃止とする予定。既存住宅は現状維持の修繕工事を行う。
	梨の木団地	長寿命化計画で維持管理を行う方針となっておりますので、耐久性向上を行い管理する。
	みなと団地	
今後の用途廃止を視野に、3団地とも入居者の退去後は入居者募集を行っていない。		
質問	公営住宅の問題を基本的な方針に基づいてどのような検討がされてきたか。	
回答	勝浦市営住宅長寿命化計画に基づき、適切な必要戸数を見込み、引き続き建て替えまたは用途廃止を計画的に進めることとしました。	

旭ヶ丘団地（戸建住宅）以外の市営住宅は非常に老朽化している。市の管理する住宅としてこのまま修繕の繰り返しではより多くの維持管理費に係る。この住宅問題は、かなり以前から議会でも問題を取り上げ提案もしているが、**弁明するだけで対応できていない**。手遅れにならない内に抜本的な対策をすることが必要です。

あとがき

9月議会は、駐車場の有料化問題が大きな焦点となった。議会での審議、採決は非常に重いものであることから、全議員が慎重に対応しなければならないのに、**「議会さえ通れば良い」**と言う考えがあるようだ。この考えは、大きな間違いである。

市政に関するご意見をお待ちいたしております。 電話・FAX 又はメールで
電話:0470-76-3232 FAX:0470-76-2209 e-mail: p_mint@live.jp